

第 107 回 日商簿記検定試験

3 級

予想の結果と講評

ネットスクール株式会社

		第 1 予 想	第 2 予 想	第 3 予 想
商業簿記	第 1 問	仕訳問題	仕訳問題	仕訳問題
	第 2 問	勘定記入 的中	小口現金出納帳	買掛金元帳 的中
	第 3 問	合計残高試算表 (明細表つき) 的中	後 T/B より財務諸表 推定	項目別仕訳→ 合計残高試算表
	第 4 問	期首・期末資本、 総収益・総費用 の計算	再振替仕訳、 帳簿の締切	伝票問題
	第 5 問	精算表推定問題	精算表文章問題 的中	決算整理→財務諸表 の作成

全体の講評 簿記の基本は仕訳といいますが、そのことを再認識させられる問題でした。
勘定記入を見て「アレっ？」となった時に取引を推定したり、訂正するために
前にした仕訳をしたりと、下書用紙や問題のわきに“少し”仕訳してみた方は、
次のステップにぐっと進みやすくなったのではないかと思います。

第 1 問 必ず理解してほしいところをしっかりと含んだ出題です。

5 . については、その金額が貸借どちら側にあるのか簡単に勘定につくってから考
えると確実です。

第 2 問 単一の買掛金元帳の記入から勘定記入へと進化した問題です。問題用紙の勘定の上
と下がどういう関係にあるのか、ざっと把握してから入りましょう。

第 3 問 ボリュームは多いですが、これも 1 つ 1 つの仕訳の積み重ねになります。

量に驚いた後、淡々と仕訳に入るまでの時間の使い方も実力の 1 つとなります。

第 4 問 最近注目されている資本関係からの出題です。

引出金勘定から手をつけていくのがポイントです。

第 5 問 旧備品と新備品で減価償却の条件がちがっているのが新しい出題でした。

その他については練習で一度は解いたことのある問題が多かったはずです。